

-INTERVIEW 02-

とても自然が豊かで ゆったりとした穏やかな 時間が流れる

楠本 みゆきさん
MIYUKI KUSUMOTO
- 有限会社フロンティア広野 -

豊かな自然とゆったり 流れる時間 広野町で就農したい

海が近い隣のいわき市で生まれ育ったので、自然は大好きでした。学生時代、自然系のアニメーションを作りたいと思い、神戸の専門学校に通っていましたが、専門学校卒業を前に、農業に興味が湧くようになりました。そこで、まずは実際に体験してみようと思い、福島県南相馬市の農家で約一週間のアルバイトを体験。アルバイト先では地域おこし協力隊の方や、農業をしながらミュージシャンをしている方など様々な方に出会いました。また、その地域の若い方々が、これからの農業について熱く語り合う姿にとっても刺激を受け、私も農業がやりたいと就農を決心しました。

決心後は、北海道で一年間酪農の仕事を行い、栽培・飼養技術や農業機械の操作方法等の習得。また、『福島県農業総合センター農業短期大学校』の長期就農研修を活用し、就農に向けた活動に励みました。農業短期大

学校での長期就農研修も終わりに近づき、地元であるいわき市で農地を探していましたが、なかなか土地が見つからず、お隣のまち・広野町に視野を広げることにしました。すると、町役場の方から『公益財団法人福島県農業振興公社就農支援センター／農業次世代人材投資資金（準備型）』を活用し二年間の研修後、広野町で就農できるようにしていきましょう』と、『有限会社フロンティア広野』を紹介していただきました。そこから話がすすみ、二〇二一年から二年間研修を行いました。研修では農業歴うん十年の芳賀社長がつきつきりで指導してくださり、二〇二三年、認定農業者として登録され、新規就農を果たしました。今は管理耕作者として田んぼを任せられ、一人で責任を持つてお米の栽培を行っています。

地域の方々に見守られ 刺激的な日々を

初めて広野町を訪れた印象は、とても自然が豊かで、穏やかでゆったりとした時間が流れているなという

印象で、ここ、広野町で就農したいと思いました。

広野町へ移住するにあたり、大変なことはありませんでしたが、強いて言えば家探しが難航しました。今は、新規就農の支援として、町営住宅に入ることで、今年からは家賃支援制度も受けながら就農しています。

実際に移住し、広野町で暮らして感じたのは、地域の皆さんが外部からくる方や戻ってくる方々を快く受け入れてくださり、またいつも気にかけて、温かく見守ってくださること。他の農家さんのお手伝いに行ったり、逆にお手伝いに来ていただいたり、様々な交流が広がって、すぐに地域やそのコミュニティになじむことができました。

広野町は、山・川・海など豊かな自然が身近にあり、ゆったりとした時間が流れています。四季折々、自然のリズムに沿って暮らしたい方や、地域と繋がって生活したい方、自分のペースでのんびりと暮らしたい方など、ぜひ広野町に足を運び、その暮らしを体感してみてください！

